

中学校第3学年【国語】

全体的な傾向

- 主として「知識」に関する問題Aにおいて、学習指導要領の領域の「話すこと・聞くこと」においては、達成状況が高い。
- 主として「活用」に関する問題Bにおいて、学習指導要領の領域の「書くこと」及び「読むこと」においては、おおむね達成している。

■ 問題A 主として「知識」に関する問題



○「話すこと・聞くこと」

問題 4一 4二 の「話の内容から必要な情報を聞き取る」や「聞いた話の中に必要な情報が含まれているかを判断し、適切に質問する」は、達成状況が高い。

○「書くこと」

問題 1一 「主語に対応させて述語を適切に書くことを見る」に課題がみられる。

☆ 推敲の指導において、主述や修飾・被修飾など語句同士の関係、また、文や段落相互の関係などについて、整合性を点検させることが必要です。

○「読むこと」

問題 3一 「物語の展開の順番どおりに出来事を並び替える」は、達成状況が高い。問題 7一 「短歌の形式に従って意味のまとまりをつかむ」に課題がみられる。

☆ 短歌を読む際には、言葉のつながりや意味のまとまりなどの点から句の切れ目について考えることで、作品の基本的な構造をとらえることが可能となります。また、作者が感動した様子などについても考えを深め、用いられている語句一つ一つに十分注意を払いながら読むことが大切です。

○「言語事項」

問題 2 「(ジシャクを使って方位を調べる)を漢字で書く」や「(空気の抵抗がある)(ピアノで伴奏をする)などの漢字の読み」は、達成状況が高い。

■ 問題B 主として「活用」に関する問題

○「書くこと」及び「読むこと」

問題 3一A 3一B 3三 の「表に当てはまる一行を詩の中から抜き出す」や「詩の内容や構成、表現上の特徴などを踏まえて写真を選び、詩と関連させて自分の考えを書く」は、達成状況は高い。一方、問題 1三ア の「図書館の案内図を見て資料に表れている工夫を自分の表現に役立てる」に課題がみられる。

☆ 「多様な資料を教材として授業で用いながら、それぞれの目的や意図などに注意して読ませるようにすることが大切です。また、学んだことをレポートや発表用の資料作りなど自分の表現活動に生かしていくようにさせることも大切です。